

学校法人 了徳寺学園 柔道部新聞



60 kg級 志々目徹が 日本代表に初選出！

4月4・5日に各階級選抜された8名のみによる日本最高峰の戦いが、福岡国際センターにて開催されました。この大会は8月24～30日にカザフスタン・アスタナで開催される世界選手権大会への最終選考会であり、了徳寺学園より男子4名、女子5名の計9名の選手が出場し、日本代表の座をかけて厳しい戦いが繰り広げられました。残念ながら優勝者は出ず、準優勝者2名、3位3名という厳しい結果となりました。しかし、60kg級の志々目が世界選手権日本代表に初選出されました。このチャンスを生かし何としても世界の頂点目指し頑張ってもらいたいと思います！！

【結果詳細】

60 kg級 志々目 徹：準優勝

初戦の永山(東海大)に対し、序盤から攻め込み、志々目ペースで試合が展開されます。相手に指導が2度与えられ、中盤に内股を押し込んで技有を奪い、順調に準決勝に駒を進めます。準決勝では大島(国士舘大)と対戦し、一進一退の攻防から徐々に志々目がペースを握り、指導1の差で勝利し、決勝進出を決めました。決勝では大学の先輩、木戸(パーク24)と相対し、志々目が序盤から攻め、木戸に指導が与えられます。その後、木戸に組み合わないとの指導が追加され、指導2の差となります。しかしここから木戸が攻め返し、志々目に指導が宣告されます。終盤に再度指導を受け、指導2-2のまま、勝負はGSに委ねられました。GSに入ってから木戸が先に技を出す展開で、最後は志々目に指導が与えられ、初優勝にはあと一步届きませんでした。課題である技出しの遅さを克服すべく取り組み、徐々に成果が表れていただけに、決勝での終盤の試合運びが悔やまれます。技の威力は自他ともに認めるところなので、後半の試合展開の仕方についてもさらに詰めていかせ、初代表となる世界選手権では金メダル獲得のため、万全の状態で迎えさせたいと思います。



左 内股で攻める志々目

1回戦	志々目 徹	○	優勢勝 (GS 指導 2)		永山 竜樹 (東海大学)
準決勝	〃	○	一本勝 (腕拉十字固)		大島 (国士舘大学)
決勝	〃		優勢勝 (GS 指導 1)	○	木戸信二 (パーク24)

63 kg級 田中 美衣：準優勝

田中は初戦、津金(筑波大)と対戦し、先にペースを握り相手に指導が与えられます。その後、相手が挽回せんと小外掛に来たところを浮落に切り替えして一本を奪い、準決勝に進出しました。準決勝では嶺井(桐蔭学園)と顔を合わせ、この試合でも先に指導が相手に与えられ、主導権を取ります。その後、相手が膝を負傷し、最後は巴投を決めて、決勝に駒を進めました。決勝では田代(コマツ)と相対します。序盤激しい攻



上 寝技で攻める田中

防の中、田中が押し込み、寝技で返そうと攻め込んでいったところを一瞬の隙をつかれ、逆に抑え込まれしまい優勝にはあと一步届きませんでした。この日は体がよく動き、調子も良かっただけに、決勝での一瞬の攻防が悔やまれます。しかし講道館杯3位ながら強化選手から漏れた悔しさをバネに、取り組んできたことは出せていたように思います。今回の結果が評価され、再び強化選手に戻ることが決まりました。もう一度世界の舞台に立つため、更なる強化に当たらせたいと思います。

1回戦	田中 美衣	○	一本勝 (浮落)		津金 恵 (筑波大学)
準決勝	〃	○	優勢勝 (指導2)		嶺井 美穂 (桐蔭横浜高校)
決勝	〃		一本負 (横四方固)	○	田代 未来 (コマツ)

52 kg級 西田 優香：3位

西田は初戦、黒木(環太平洋大)と対戦し、中盤からペースを握り、相手に2度の指導が与えられ、初戦を突破します。準決勝では中村(三井住友)との試合を迎えました。開始早々、西田が小外刈で相手を大きく崩します。その後、一進一退の攻防の中、西田に指導が与えられます。挽回すべく、西田が技をつなぎ、相手に指導が与えられるかという終盤、一瞬の隙を突かれて腕拉十字固に極められ、ここで涙をのみました。十分競り合せて勝機もあっただけに、悔しい気持ちが残りますが、来年に向けて最善を尽くしていきたいと思っています。



左 ライバル中村に対して攻める西田

1回戦	西田 優香	○	優勢勝 (指導2)		黒木 美晴 (環太平洋大学)
準決勝	〃		一本負 (腕拉十字固)	○	中村 美里 (三井住友海上)

63 kg級 西川 真帆(新入部員) : 3位

西川は初戦、平井(自衛隊体育学校)と対戦し、先に指導を許すものの、追いつき、最後は相手の捨身小内刈を透かして有効を奪い、準決勝に進みます。準決勝では田代(コマツ)と顔を合わせ、勝負に行こうとしますが、なかなか自分の形になれず、逆に指導を2度受け、決勝進出はありませんでした。年末に痛めた足の怪我が長引き、十分な稽古が積めない中での試合となりましたが、持ち味は出せていたように思います。さらに上を目指すべく、課題に取り組ませたいと思います。



左 新入部員の西川

1回戦	西川 真帆	○	優勢勝 (隅落・有効)		平井 希 (自衛隊)
準決勝	〃		優勢負 (指導2)	○	田代 未来 (コマツ)

81 kg級 渡邊 勇人(新入部員) : 3位

渡邊は初戦、大学の先輩である海老(旭化成)と対戦しました。渡邊が試合のペースを握り、ポイントこそ奪えませんでした。指導2-1で勝利し準決勝に進出します。準決勝では永瀬(筑波大)と相対し、一進一退の中、中盤に渡邊に指導が与えられます。その後、大外刈にいったところをお互いにはじきあう形で倒れ、渡・に有効が入ります。しかしこのポイントが取り消され、またその際に膝を痛めます。その後気力で試合をこなしますが、足を引きずる形での対戦で指導を受け、無念の敗退となりました。肘の手術を乗り越え、初めての選抜の舞台にも臆することなく挑みましたが、膝に負傷を負う悔しい結果となりました。まずはしっかりと治療し、次の大会に向かわせたいと思います。



上 寝技で攻める渡・(新入部員)

1回戦	渡邊 勇人	○	優勢勝 (GS 指導2)		海老 泰博 (旭化成)
準決勝	〃		優勢負 (指導2)	○	永瀬 貴規 (筑波大学)

73 kg級 秋本 啓之 : 初戦敗退



秋本は初戦、橋本(パーク 24)と対戦し、序盤ペースを握り、相手に指導が与えられます。その後、相手の一本背負投からの大外刈で有効を奪われ、リードを許します。その後挽回せんと攻めますが、ポイントを返すまでには至らず、初戦で涙をのみました。

昨年出場した国際大会すべてを制して臨んだ今大会でしたが、一瞬の攻防が明暗を分け、悔やまれる敗戦となりました。しかし怪我等のコンディションも不安のないところまで回復しているので、悲願に向けて諦めることなく向かわせたいと思います。

1 回戦	秋本 啓之	優勢勝 (大外刈・有効)	○	橋本 壮市 (パーク 24)
------	-------	--------------	---	----------------

70kg 級ヌンイラ華蓮 : 初戦敗退

ヌンイラは初戦、池(国士館大)と対戦し開始早々、畳に足を滑らせ有効を先取されます。その後指導が相手に与えられますが、ポイントを奪うまでに至らず、挽回せんと不十分な体勢から掛けた内股を小外掛に切り替えられ、3連覇はなりません。この日はいつものヌンイラの柔道が展開できず、自分のペースになれないまま、畳を降りる結果となりました。この悔しさをバネに今後の試合に向かい、心身ともに成長世界の舞台上で昨年の借りを返せるよう、取り組ませたいと思います。



右 大外刈りで攻めるヌンイラ

1 回戦	ヌンイラ 華蓮	一本負 (小外掛・一本)	○	池 絵梨菜 (国士館大学)
------	---------	--------------	---	---------------

73 kg級 西山 雄希 : 初戦敗退



西山は初戦、土井(ダイコロ)と対戦し、開始直後の土井の背負投にはまってしまい、力を出す前に敗戦となりました。今大会に向けて了徳寺大学にてウエイトトレーニング等を増やし、精力的に稽古に取り組んできたものの残念ながら結果につなげることが出来ませんでした。このところ、受けに脆さがみられる試合が続いているだけに今後、ディフェンス面を再度洗い直させて次に向けて取り組ませたいと思います。

1 回戦	西山 雄希	一本負 (背負投・一本)	○	土井 健史 (ダイコロ)
------	-------	--------------	---	--------------

78 kg級 緒方 亜香里：初戦敗退

緒方は初戦、濱田(自衛隊体育学校)と対戦し、序盤組み勝って自分の形を作るも、少し頭が下がったところを内股に合わされ、無念の初戦敗退となりました。練習でも膝の不安が徐々に抜けてきていただけに、悔いの残る結果となりましたが、諦めることなく、心身ともに成長した姿で2度目のオリンピックの畳の上に立てるよう、諦めることなく今後の試合を1試合1試合全力で向かわせたいと思います。



1回戦	緒方 亜香里		一本負 (内股)	○	濱田 尚里 (自衛隊)
-----	--------	--	----------	---	-------------

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★今後の試合予定 (4月8日現在)★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

○世界選手権 (アスタナ・カザフスタン) 8月24日～30日 60 kg級 志々目 徹

○グランドスラム・バクー (アゼルバイジャン) 5月8日～10日 78 kg級 緒方 亜香里



引き続き 応援のほどよろしくお願いします!



平成27年度学園柔道部